

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語コミュニケーションⅡ	2	A B C D E F	4	必修	156 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	Creative English Communication II 第一学習社
使用教材等	Heartening English Communication II WORKBOOK、フェイスバレット英単語・熟語 コーパス3000、Focus on Listening Standard、Switch 2～3、Viewpoint Basic、The Love Stories of O.Henry、Newsbreaks、A Christmas Carol

科目の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】教科書・「フェイスバレット英単語・熟語 コーパス3000」の単語や慣用表現を正しい発音で覚え、それらを使って類似した英文をつくれる能力を身につける。また、英文を読むのに必要な文法知識を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】教科書の各章の内容を、その背景知識と共に理解し、より深く英文を読み込む力を養う。各章の文全体の構造を正しく捉え、トピックを把握し、文の流れを追いながら、各章が伝えようとする内容を正しく読解すると共に、その内容を他者に伝えられる表現力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】各章の内容に関連する事柄を自ら踏み込んで調べ、英語を読みながらも、社会や世界の諸問題を考えていこうとする態度を養う。</p>
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<p>Lesson 1 Voice for Action Lesson 2 Aren't you sleepy? Lesson 3 Becoming attractive to Your audience</p> <p>Switch 2 (週末課題、ゴールデンウィーク課題) NEWSBREAKS for Standard English Learners 2026 Three Love Stories from O. Henry (夏休み課題)</p> <p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。</p> <p>【思】 レッスンそれぞれの学習のねらいである、「気候変動への取り組み」「動物の睡眠」「スピーチ」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を持ち、クラスメートと話し合うことができる。</p> <p>【態】 予習・復習、小テスト等にはしっかり取り組む。テキストの背景知識や使用される表現について自ら積極的に調べるができる。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付けている。</p> <p>【思】 各レッスンで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を理解し、自分なりの意見を持ち、クラスメートと話し合う。</p> <p>【態】 予習・復習をしっかりと行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を把握し、背景知識を自ら調べて内容を理解しようとする。</p>
2	<p>Lesson 4 Are you prepared? Lesson 5 The Era of Beautiful Harmony Lesson 6 Actions to Reduce Loss and Waste View Point (週末課題) A Christmas Carol (冬休み課題)</p> <p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。また、身に付けた表現を使って、英訳ができる。</p> <p>【思】 レッスンそれぞれの学習のねらいである、「自然災害」「元母について」「フードロス、フードウェイスト」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を発表し、クラスメートと話し合うことができる。</p> <p>【態】 予習・復習、小テスト等にはしっかり取り組む。テキストの背景知識や使用される表現について自ら積極的に調べ、内容を深く理解することができる。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付け、活用している。</p> <p>【思】 各レッスンで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を深く理解し、自分なりの意見を持って、クラスメートに発表する。</p> <p>【態】 予習・復習をしっかりと行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を正確に把握し、必要な背景知識を自ら調べて深く内容を理解しようとする。</p>
3	<p>Lesson 7 Living with Adventure Lesson 8 Power to the People! Lesson 9 Traveling This Beautiful Planet Optional Lesson</p> <p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。身に付けた表現等を活用して短い英文作文ができる。</p> <p>【思】 レッスンそれぞれの学習のねらいである、「南谷真鈴さんの冒険」「電池の発展」「オーバートゥーリズムの問題」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を発表し、クラスメートと話し合いを深められる。</p> <p>【態】 予習・復習、小テスト等にはしっかり取り組む。テキストの背景知識や使用される表現について知り、テキストの内容に付随する諸問題についても関心を持って調べることができる。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付け、積極的にアウトプットする。</p> <p>【思】 各レッスンで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を深く理解し、自分の意見をクラスメートと共有し、諸問題の解決に関心を持つ。</p> <p>【態】 予習・復習をしっかりと行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を正確に把握し、背景知識を自ら調べて深く内容を理解し、それをクラスメートとも共有しようとする。</p>